

都市の機能と魅力を高め、活力あふれる都市を創る取組



東海地域をリードし、地域社会のイノベーションを誘発する『産業・交流拠点都市』の実現に向けて

プロジェクト 01

【仕事生まれる】  
第4次産業革命に備える産業活性化プロジェクト

AIやIoTなどの新技術の導入による新事業の創出・生産性の向上・人材不足の解消等に、いま世界中が大きな期待を寄せています。

この流れを地域を支える企業の経営に生かし、投資や雇用拡大につなげていくかが中長期的な発展の鍵。技術開発や実証実験、人材育成など「企業の稼ぐ力」の向上を支援します。



プロジェクト 02

【魅力が高まる】  
中心市街地再開発プロジェクト

東京・名古屋間のリニア開通を機に、首都圏との交流が飛躍的に高まります。

人と人との交流によって生み出された知恵が、新たな産業や文化を育む力になることから、四日市の玄関口である中心市街地を、まちの魅力と活力をひと目で見て取り、体感できる、象徴性を持った高次な都市機能が集積する都市空間へと転換を進めます。



プロジェクト 03

【人・モノが行き交う】  
次世代交通ネットワーク構築プロジェクト

慢性的な交通渋滞、そして地域では買い物や通院など日常の移動手段の確保が困難となっています。

自動運転や空飛ぶ車など近未来技術の進展を見極めながら、IoTを活用した交通サービスの充実、渋滞箇所の改良、地域交通拠点の整備、循環道路網の形成などを組み合わせた交通ネットワークの構築を図ります。



東海エリアにおける西の中核都市【核】となり存在感を持つため、「多様な都市機能が集積し、人で賑わい、まちの魅力にあふれるまちづくり」を進めます。

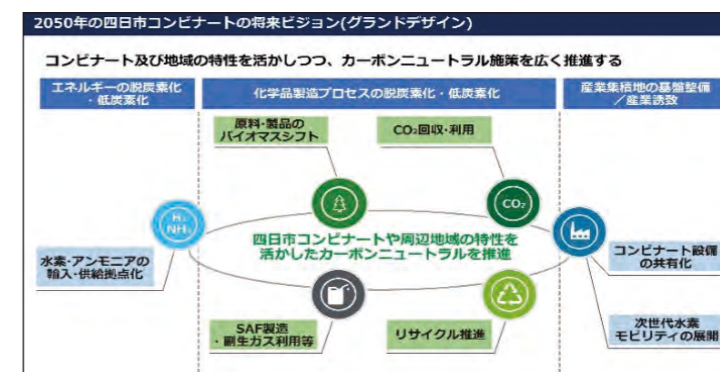
プロジェクト 01 【仕事生まれる】第4次産業革命に備える産業活性化プロジェクト

No. 1 四日市コンビナートカーボンニュートラル化促進

産業+雇用+環境

目的 四日市臨海部のコンビナート地区が本市の基幹産業として維持・発展していくため  
カーボンニュートラル(CN)社会の実現に貢献する四日市コンビナートの取組を促進する

- 具体的取組
- ① 三重県と連携して四日市コンビナートカーボンニュートラル化推進委員会及び部会を運営し、企業のCN化に向けた具体的な取組を促します。
  - ② CN化に向けて新たな事業に取り組む企業に対し、FS(実現可能性調査)などを重点的に支援します。
  - ③ 企業の大型商用車向け水素ステーション等の設置を支援するなど、水素の地産地消を進めます。
  - ④ CO<sub>2</sub>削減に向けた水素等新エネルギーの利活用に取り組む企業を支援します。



2050年の四日市コンビナートの将来ビジョン(グランドデザイン)

No. 2 企業立地や投資の促進

産業+雇用

目的 日本を代表する産業都市として、企業に向けた体制や環境の整備を進めることで  
新たな企業立地や活発な投資を促進する

- 具体的取組
- ① 新たな企業立地に対するワンストップサービスを充実します。
  - ② 北勢バイパスの国道477号バイパスまでの区間が令和6年度に開通することなどから、主要な道路の沿線付近について、土地利用の方針と整合を図りつつ、新たな産業用地への位置付けを検討するなど産業用地の確保を図るとともに、地域経済に対する効果が大きい製造業を中心とした企業誘致を図ります。
  - ③ 企業立地奨励金や民間研究所立地奨励金の見直し、拡充による企業の投資を促進します。

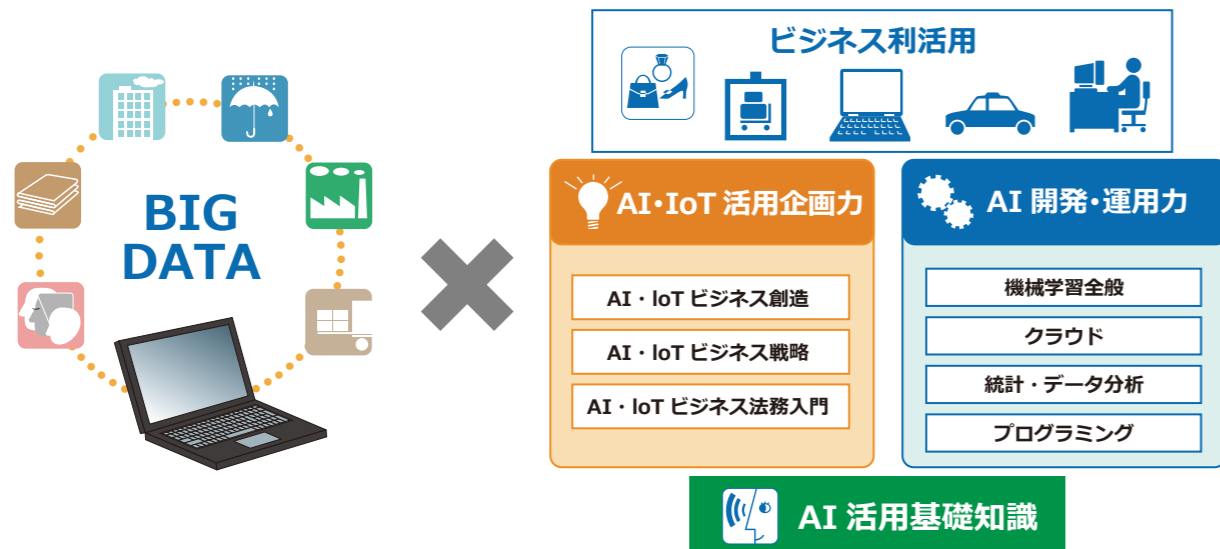


### No. 3 AI、IoT等の新技術の活用、人材育成

産業 + ICT

**目的** 製造業における人手不足などの課題を解決し、業務の効率化を図るため  
AI、IoT等の技術を活用できる人材を育成し、生産性を向上させる

- 具体的取組**
- ① AI、IoT、ビッグデータの導入事例の紹介や利活用に関する研修を実施します。
  - ② 導入に向けた産学官による調査研究を行います。



### No. 4 農業のビジネス化

農業 + 経営

**目的** チャレンジする農家を育成するとともに、農業のビジネス化を促進することで、  
経営感覚に優れた農業者を育成し、「儲かる農業」を実現する

- 具体的取組**
- ① GAP、HACCPなどの管理手法の導入を奨励し、生産物の品質向上や経営コストの削減など農業経営の改善をすすめ、経営の安定化を図ります。
  - ② 多様な産業が展開する本市の特性を生かし、異業種交流の機会を設け、農商工連携など新たな販路の確保を図ります。
  - ③ 地元で生産される農水畜産物への理解を深め、地域内消費を進めることにより地域農業の振興を図るとともに、農作物の安定的な生産を図ります。
  - ④ 新たな本市の特産品となる農作物や加工品の作出に向けて、高収益作物への転換など、産地育成に寄与する取組を支援します。



農産物の高付加価値化、加工や商品化といった6次産業化等新たな分野への取組を促すため、農業センターにおいて各種研修会を開催し、実践の場を提供します。

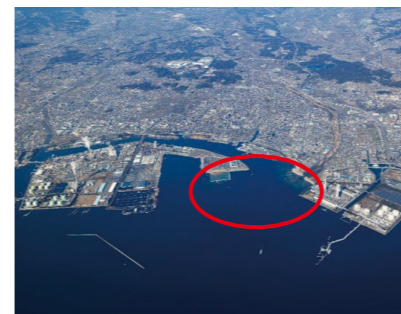
GAPやHACCPなどの管理手法を取り入れ、経営を見直すとともに、生産物の高品質化への取組を支援します。

### No. 5 国際競争力を高める 四日市港の物流機能強化

港湾 + 産業 + 防災

**目的** 四日市港の物流機能の強化を図り、市内企業の国内外との商取引環境を整備することで  
本市の産業・経済を将来にわたり活性化

- 具体的取組**
- ① 霞ヶ浦地区における新たな耐震強化岸壁の整備を促進します。
  - ② 臨海部の住民や企業の安全・安心を確保するための海岸保全施設整備を促進します。
  - ③ 産業機能の充実・強化を図るため、臨港交通体系の南北軸の強化に向け、霞ヶ浦地区と塩浜・石原地区等を結ぶ道路整備を促進します。



コンテナ取扱機能を移転・集約化することで一層の効率化を図るとともに、大規模地震発生時においても海上コンテナ物流機能を維持するため、新たな耐震強化岸壁を備えた施設整備を促進します。



老朽化した港湾施設の計画的な更新や修繕、南海トラフ地震等の大規模地震や津波、高潮、波浪等に対する備えを促進するため四日市港管理組合ほか関係機関との連携を強化します。



四日市港と背後圏とのアクセス向上や周辺道路の渋滞に左右されない貨物輸送の定時性・即時性の確保に向け、南北軸の強化を促進します。

【出典：四日市港管理組合資料】

### No. 6 官民データの利活用による 新たなビジネスの創出と地域課題の解決

ICT + 産業 + 地域

**目的** 自治体や民間が保有しているデータを公開していくことで  
本市に新たなビジネスを創出し、様々な地域課題を解決する

- 具体的取組**
- ① 市・市民・企業等が官民データを容易に利活用することができ、地域課題への対応を連携して分析・解決できる環境を整備します。



官民協働による地域課題の解決に向けた官民データの有効活用とそのデータを利活用した市民サービス向上に向け、ハッカソンの開催等を通じてアプリケーションの開発を目指します。

## No. 1 「ニワミチよっかいち」中央通り再編 を中心としたまちづくり

交通・にぎわい+産業+健康

**目的** JR四日市駅及び近鉄四日市駅の駅前広場や歩行空間等の整備・高次都市機能の集積で、**居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかを形成する**

- 具体的取組**
- ① にぎわい創出に向けた市の玄関口に相応しい駅前空間の整備に取り組みます。
  - ② 国によるバスタ四日市の整備と連携しながら、歩行者デッキや駅前広場等の整備による交通結節機能強化を図ります。
  - ③ 官民連携による歩行空間等の整備や管理運営を進めるとともに、先端技術を取り入れた中心市街地のスマート化を図ります。
  - ④ 近鉄四日市駅～JR四日市駅間において、周辺の主要な公共施設との連携も視野に、自動運転等の新技術の導入に関係者とともに取り組みます。
  - ⑤ 新図書館等拠点施設や大学等の立地など広域的な都市機能を集積するとともに、再開発など民間投資の誘導を図ります。
  - ⑥ JR四日市駅周辺において、まちとみなとをつなぐ自由通路の計画を推進します。



近鉄四日市駅側から東を望む  
バスタ四日市や歩行者デッキ等の整備  
(近鉄四日市駅側から東を望む将来イメージ)



JR四日市駅側から西を望む  
中央通り公園など官民連携による歩行空間等の整備  
(JR四日市駅側から西を望む将来イメージ)

## No. 2 四日市が仕掛ける中心市街地活性化

教育+都市整備+にぎわい

**目的** 新たな知と交流の拠点となるような施設を整備することで、**幅広い年齢層の人々を惹きつける魅力的な空間を創出する**

- 具体的取組**
- ① 新図書館を核として、あらゆる世代が集い交流することのできるスペースや憩いの空間など、複合的な機能を持つ拠点施設を整備します。
  - ② 新図書館においては、ICTにも対応するとともに、日常の居場所ともなる全世代を対象とした滞在型図書館とします。



新図書館整備に向けた市民ワークショップ(新図書館にふさわしい空間づくりや、期待する機能などについて市民意見を聴取)



図書館の閲覧スペースは、滞在型として必要かつ十分な広さを確保します。(多賀城市立図書館の事例)

## No. 3 産業界・大学・行政が連携した 教育・研究の拠点づくり

産業+教育+にぎわい

**目的** 産業界・大学・行政が連携して人材養成と研究開発に取り組む大学を設置することにより、**地域からのイノベーションを創出し、地域産業の持続的な発展を図る**

- 具体的取組**
- ① JR四日市駅前において、地域の産業界・大学・行政が連携し、地域の成長分野をけん引できる人材を養成するとともに、地域からのイノベーションを創出する理系大学の設置に向けた取組を進めます。
  - ② 設置する大学については、中央通り再編と一体的に整備するとともに、市民にひらかれ、四日市のまちと一体となった大学とします。



行政も積極的に関わりながら、企業との共同研究開発など産学連携を推進します。(慶應義塾大学の事例)



大学とまちをつなぐニワミチ空間(将来イメージ)

【画像の出典：「特色あるラボデザインの事例集」(文部科学省)】

## No. 4 みんなでつくる魅力的なまちなか

都市整備+にぎわい

**目的** 官民連携によるエリアマネジメント体制の構築や、歩きやすい商店街の空間を創出することで、**中央通り再編などインフラ整備と連動したにぎわいの波及につなげる**

- 具体的取組**
- ① 中心市街地において官民連携により、エリアマネジメントを進める体制の構築を行うとともに、エリアプラットフォームによる商店街等のにぎわい創出に向けた取組を促進します。
  - ② 中央通り再編により高質化した都市空間にふさわしい魅力ある商店街となるよう、老朽化が進む施設(アーケード、舗装)のあり方について、関係者と調整を図った上で取組を進めます。



「四日市エリアプラットフォームによる未来ビジョン」  
スワエリア(諏訪新道を国道1号から東側に臨む)における未来のエリアイメージ

## No. 5 新たな価値を創出する都市型産業の振興

産業+ICT

**目的** 多様な機能が集積する中心市街地をめざし、新たな価値を創出する都市型産業の振興により **新たな技術やサービスを創出する**

- 具体的取組**
- ① 中心市街地再開発プロジェクトと連動し、AI、IoT、ビッグデータなどを活用するIT企業を誘致します。
  - ② 来街者の集積や交流を促すコンベンションを誘致するほか、多機能付滞在施設を誘致します。

AI、IoT、ビッグデータを活用するIT企業の誘致に向けた支援を行う事で、本市のものづくり産業との連携など産業の活性化につながる取組を行います。



コンベンションの開催イメージ

## No. 1 楽しく移動できる交通環境づくり

交通・にぎわい+環境

**目的** 新技術を取り入れた交通手段を実現することで **誰もが自由に移動できる環境を整備する**

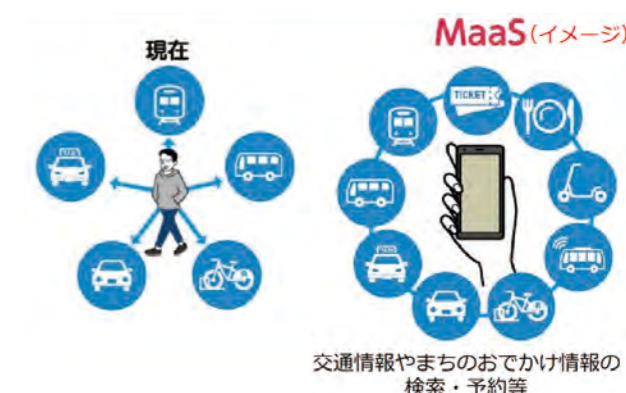
- 具体的取組**
- ① 近鉄四日市駅-JR四日市駅間等において、周辺の主要な公共施設との連携も視野に、自動運転等の新技術の導入に関係者とともに取り組みます。
  - ② 郊外などにおけるさまざまな移動ニーズへの活用を視野に、自動運転などの新技術の導入に取り組みます。
  - ③ 移動のニーズに応じた多様な交通サービスの提供やまちなかのにぎわい創出に向け、MaaSの導入に取り組みます。

【令和6年度自動運転実証実験】



自動運転レベル4対応のNAVYA EVO (ナビヤ エヴォ)

【MaaSの概要】



## No. 2 郊外部の暮らしを支える交通・生活サービスの拠点づくり

交通・にぎわい+生活

**目的** 地域の交通拠点を整備することで **郊外部の交通・生活の利便性を向上する**

- 具体的取組**
- ① 郊外部において基幹的な公共交通へ快適に乗り換えできるような新たな交通拠点の整備に取り組みます。
  - ② 郊外型商業施設や市街化調整区域内の駅などを活用し、公共交通と連携した拠点化に取り組みます。

【駅前広場整備の事例（四日市あすなろう鉄道 内部駅）】



【コミュニティターミナル整備の事例】



# No. 3 都市の発展と命を支える道づくり

交通 + 産業 + 安全・安心

**目的** 広域幹線道路とのネットワークを構築し、  
**地域経済の活性化を図るとともに、大規模災害に備える**

- 具体的取組**
- ① 東海環状自動車道、新名高速道路及び鈴鹿四日市道路の整備促進に向け、関係者とともに取り組むとともに、北勢バイパスの国道477号バイパスから南の未整備区間において、早期着工に向け、国とともに取り組みます。
  - ② 広域高速道路と中心部や臨海部を結ぶ道路ネットワークを強化しインターアクセスの向上を図ることで、物流のリードタイムを短縮するとともに、大規模災害などの緊急対応に備えます。
  - ③ 北勢バイパスの国道477号バイパスまでの開通を機に広域交通の利便性が高まる区域において、新たな企業立地や再編に必要な土地利用を誘導するとともに、防災機能の向上にも資する道の駅設置に取り組みます。

【広域道路網】



【設備投資が進む産業の事例】



【整備が進む広域幹線道路】



【道の駅のイメージ】



都市の機能と魅力を高め、活力あふれる都市を創る取組



まちの未来を守り、将来の市民にバトンをつなぐ  
『環境・防災先進都市』の実現に向けて

プロジェクト 04

近未来の  
スマートシティ  
創造プロジェクト

これからは人口減少に伴い、他にはない魅力や良質な住環境を持つ都市に、人や資源が集中していきます。

私たちのまち四日市を、みどり豊かな美しい街並みの創出と環境低負荷型の都市システムの創造により、環境的に持続可能で、生活満足度の高い、次世代に受け継がれる都市へと進化させていきます。



プロジェクト 05

都市の  
「空き」再活用  
魅力増進  
プロジェクト

少子高齢化の急速な進展とライフスタイルが多様化する中で、高度成長時代に築いた都市の資産(ストック)に「空き」が生じてきています。

活用に「空き」が見られる公共施設や公園、空き家など、都市を形づくる様々な要素にもう一度活躍の場を創出することで、地域の特性に合わせた魅力づくりを進めます。



プロジェクト 06

みんなで備える  
地域防災  
連携強化  
プロジェクト

大規模災害はいつ発生してもおかしくないことを前提に、事前の想定と備えを十分しておく必要があります。

私たち自ら行動し、地域で互いの顔が見える協力関係を築くことがまちの安全安心を飛躍的に高め、災害から大切な命や資産を守る力となるため、地域のコミュニティ力を地域防災の強化につなげる取組を進めます。



東海エリアにおける西の中核都市【核】となり存在感を持つため、  
「多様な都市機能が集積し、人で賑わい、まちの魅力にあふれるまちづくり」を進めます。

プロジェクト 04 近未来のスマートシティ創造プロジェクト

No. 1 ゼロカーボンシティを目指すまちづくり

脱炭素+産業+防災+教育



2050年に「ゼロカーボンシティ」を実現するために、  
市域から排出される温室効果ガスを削減する



- ① 太陽光発電設備や蓄電池などの導入により、エネルギーの地産地消を促進するとともに、災害に強くエネルギーマネジメントが高度化されたスマートシティの構築を目指します。
- ② 環境教育の充実により環境意識の向上を図り、公共交通の利用や食品ロスの削減等脱炭素型のライフスタイルを促進します(デコ活の推進)。
- ③ 資源循環事業モデルの構築に向けて、企業や市民、NPO等と連携した取組を進めます。



No. 2 市が率先して取り組む脱炭素

脱炭素+防災

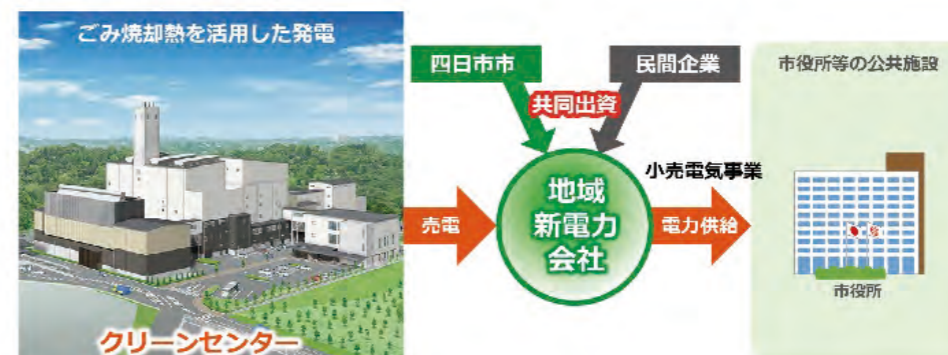


市民や事業者と一体となって「ゼロカーボンシティ」を実現するため、  
市が率先して公共施設からの温室効果ガス排出量を削減する



- ① 省エネルギー化を進めつつ、太陽光発電設備の導入による脱炭素化を図ります。また、蓄電池を組み合わせて検討し、レジリエンスの強化も図ります。
- ② クリーンセンターでゴミを焼却する際に出るエネルギーを地域新電力会社を通じて公共施設に供給するなど、電力の脱炭素化を進めます。
- ③ 公用車の次世代自動車への移行を促進し、モビリティの脱炭素化を図るとともに、災害時には非常電源として活用します。

地域新電力の仕組み



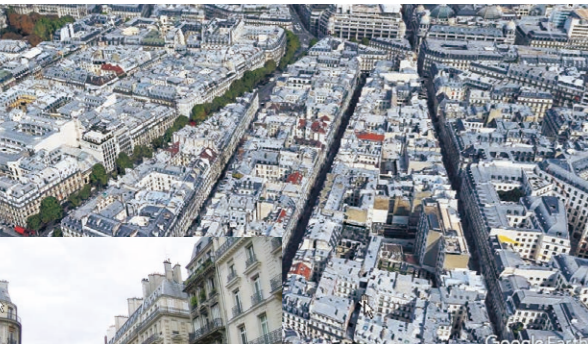
### No. 3 100年先まで価値のある “まちなみ”づくり

居住+景観+にぎわい

**目的** 将来の良好な都市景観を形づくる良好な建築ストックの集積により、  
**良好な街区ストックを形成する**

**具体的取組** ① 中心市街地では、再開発など民間投資を誘導しつつ、将来の良好な都市景観を形づくる建築ストックの集積を図ります。

【良好な街区ストックの事例】  
パリ・マドレーヌ寺院付近の街区



長期にわたり定型を保った街並みを形成する秩序立った街区内建築群

【再開発事業の事例】  
市街地再開発事業+広場空間整備（豊橋市）



【出典：豊橋駅前大通二丁目地区市街地再開発組合】  
商業・業務・居住機能等や緑豊かな広場・交流空間を有し、良質な街区を形成する再開発事業の事例

### No. 4 産業のスマート化促進

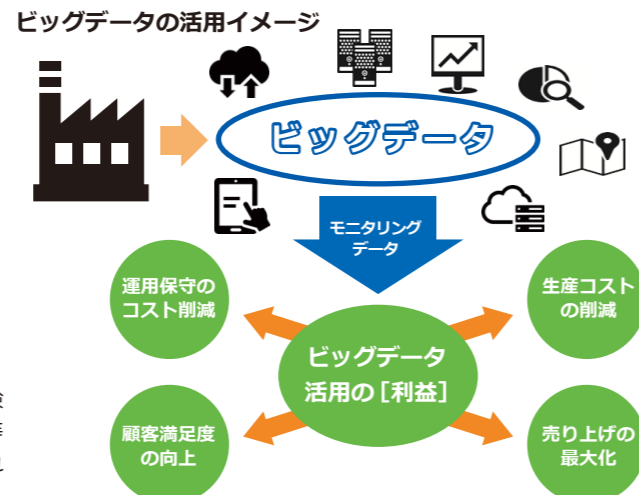
産業+ICT+環境

**目的** AI、IoT、ビッグデータなど新たな技術を活用し、  
**工場のスマート化を促進する**

**具体的取組** ① AI、IoT等を導入し、工場のスマート化に取り組むコンビナート企業や中小企業、市内製造業に対する支援を実施します。  
② AI、IoT等の導入事例の紹介や利活用に関する研修等を実施します。  
③ 脱炭素化を促進するために、水素やアンモニア等新燃料への転換を図る事業者への支援を実施します。



プラントにおけるドローンの活用は、高所点検の容易化、点検頻度の向上による事故の未然防止、災害時の迅速な現場確認等が可能となり、プラントの保安力の向上につながると期待されています。

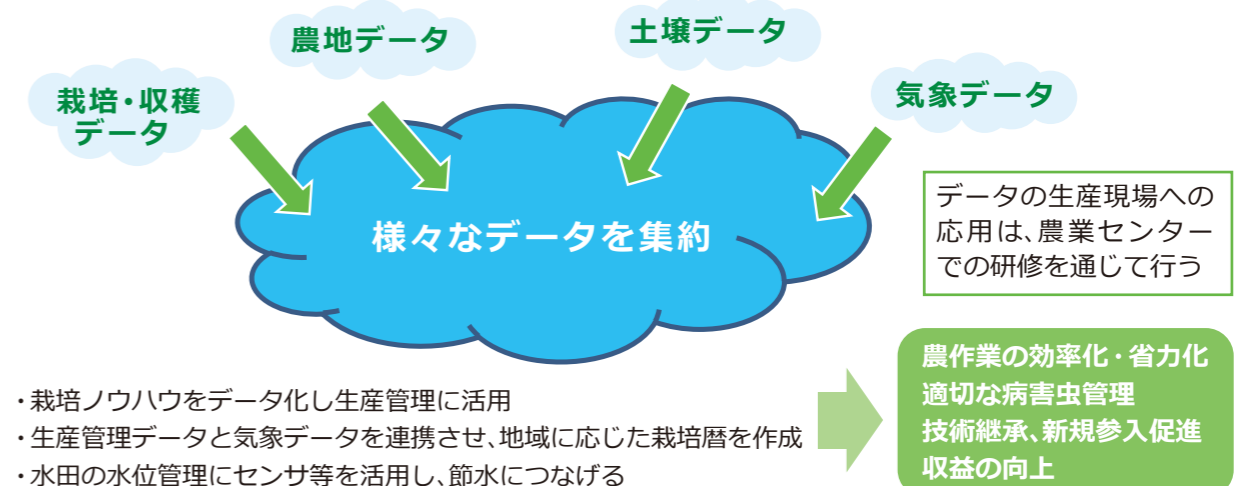


### No. 5 ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用した スマート農業導入支援

農業+ICT

**目的** 農業に関するデータを活用できる環境を整備し、作業の効率化・栽培技術の継承につなげることで  
**農業の担い手の高齢化や、労働力不足に対応する**

**具体的取組** ① 産地圃場でのセンサによる栽培や気象状況のデータを集積します。  
② 導入を検討する農家に対する研修会やセミナーを開催します。  
③ 相談体制を確立し、農業者と先端技術のマッチングを実施します。  
④ 実証実験及び導入時における支援や助成を実施します。

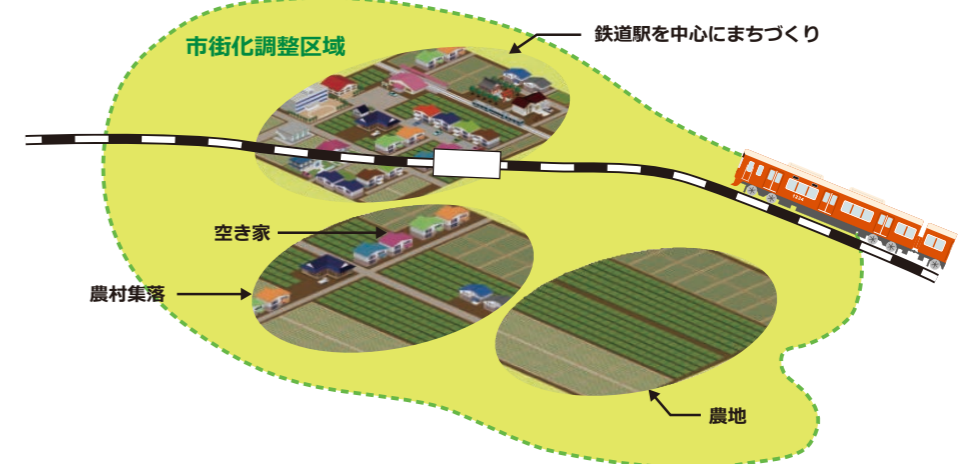


### No. 6 便利で元気な 農村集落・郊外居住地づくり

生活+交通+にぎわい

**目的** 日常生活に利便性の高い機能を近隣駅周辺へ立地可能とすることで  
**鉄道駅を中心にしたまちづくりを進めるとともに  
農村集落では空き家等を活用し、地域コミュニティの維持・再生を図る**

**具体的取組** ① 市街化調整区域においても、鉄道駅を中心とした区域内で農地以外の一定の土地利用を許容する制度設計を検討します。  
② 空き家の活用に向けた支援制度等により、農村集落における空き家や公共インフラの既存ストックの有効活用を図ります。

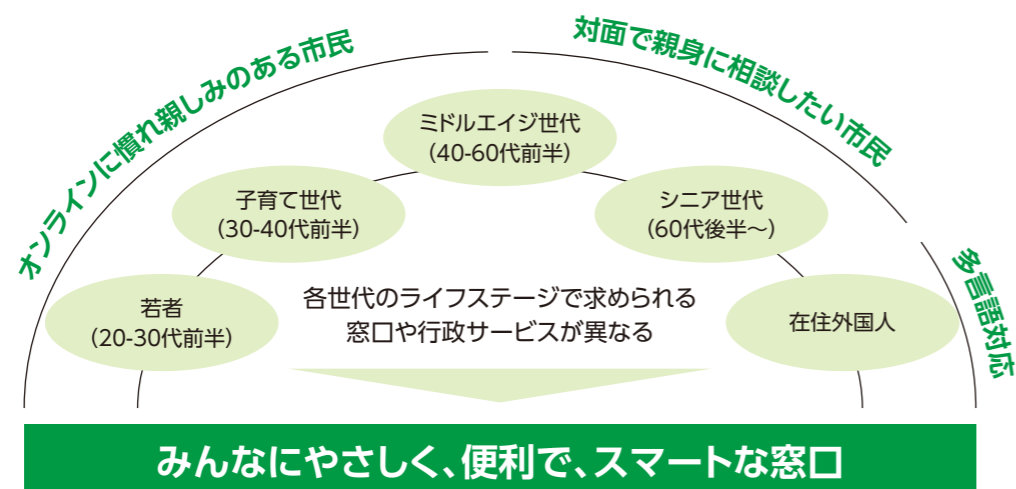


# No. 7 行政手続のデジタル化

ICT+生活

**目的** デジタル技術を活用して  
**様々な分野において、市民サービスの利便性を向上する**

- 具体的取組**
- ① マイナンバーカードを活用した申請も含め、申請件数の多い手続から優先的に行政手続のオンライン化(行かない)を進めることで、多くの市民の利便性の向上を図ります。
  - ② 窓口業務のデジタル化に向けた実施計画に基づき、窓口業務のデジタル化を推進し、書かない、待たない、回らないなど、市民にとってやさしい行政窓口を実現します。



## No. 1 産学官連携でつくる みなとまちづくりプラン

港湾+にぎわい+観光+健康

**目的** 四日市港発祥の地である四日市地区を、市街地に近い利点と文化的資源や景観等を生かし  
**市民が集い、世界へつながる交流の窓口として再生する**

- 具体的取組**
- ① 四日市地区の活性化に向けて将来像を描いた「みなとまちづくりプラン」の実現に向け、官民一体となって取組を進めます。
  - ② 歴史的・文化的資源や運河など、港ならではの資源と景観を活用した、歩いて楽しめる空間づくりや環境整備を促進するとともに、まちとみなとをつなぐ自由通路の計画の推進に合わせて、納屋防災緑地等の整備に向けて取り組めます。
  - ③ 千歳運河周辺の親水護岸の整備を促し、にぎわいの創出につなげるとともに、集客の拠点となる飲食店や人が交流する民間施設の誘致や再開発についても、関係者と連携して推進します。



国・県・四日市港管理組合・地元経済界・港湾関係者とともにみなとまちづくりプランの実現に取り組めます。



市街地に近い利点と文化的資源や景観等を生かした憩いの場として、いつでも市民や来訪者が港に立ち寄って楽しめる魅力的な空間づくりを進め、本市の魅力を高めています。

## No. 2 公共空間再編

環境・景観+子育て+健康

**目的** 人口減少、少子高齢化が進行する中で生じてきた未・低利用地を活用し、  
**公共空間の再編を核としたパイロット事業を展開する**

- 具体的取組**
- ① 利用の低下している小規模公園の集約・統合や、公共施設・公共用地の活用により、子育て世代の定住を促進するとともに、誰もが快適に暮らせるまちへの再生に向けて、公共空間の再編を図ります。



**小規模・低利用公園例**  
市内には利用の低下している小規模公園が多く、維持管理費のみが増加し続けています。これら低利用公園を廃止・統合し宅地として売却します。



**新設公園イメージ**

統合する新設公園は、子どもから高齢者まで様々な年齢層が楽しめ、イベント開催等、周辺住民の多様なレクリエーションニーズに対応したものとし、公園を中心としたまちの活性化を図ります。



## No. 3 まちの「空き」を まちの「好き」にリニューアル

居住+景観

**目的** 人口減少の進行により増加が懸念される空き家や空き地の利活用促進により  
**良好な居住地を形成する**

- 具体的取組**
- ① 居住地における空き家の建替えやリノベーション、空き地の利活用を促進し、既存ストックの有効活用を図ります。

**【空きストックの活用事例】  
市営住宅跡地を公園へリニューアル**



身近な公園が無い地域において、市営住宅跡地の『空き』を活用し、みんなが使える公園としてリニューアルを行った事例

**【空き家の利活用の事例】  
住み替え支援事業を活用し空き家をリノベーション**

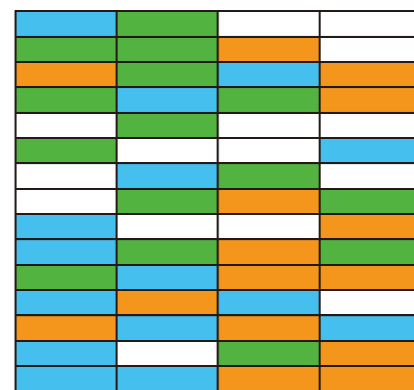


## No. 4 地域農業の振興と農地の保全

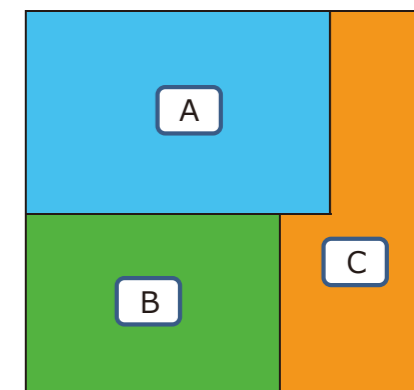
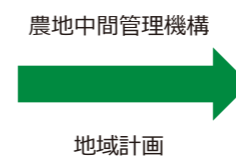
農業+地域

**目的** 地域で一体となった営農ができる体制を構築し、  
**農業が継続できる環境を整え、農業・農地を保全する**

- 具体的取組**
- ① 地域の農業関係者が一体となって計画的に農業を行う「地域計画」の策定を促すとともに、計画に基づいた活動を支援し、地域が主体となった農地や農業用施設の維持管理を図ります。
  - ② 農地中間管理機構を活用した担い手農家への農地の集積を進めるとともに、「農地バンク」の運用を見直し、円滑に農地の斡旋を行うことにより、新規参入を促し、食の安定供給を図ります。



地域内の分散した農地利用



担い手ごとに集約化した農地利用  
→ 農業の効率化、施設の維持管理の軽減

## No. 1 迅速で分かりやすい防災情報の提供

防災 + 教育 + 消防



目的 防災・減災に関する情報の発信の強化を図ることにより、**「自分の命は自分で守る」行動につなげる**



- 具体的取組
- ① 災害情報のプッシュ送信や多言語での配信・防災アプリの活用など、分かりやすい防災情報の提供を行います。
  - ② ライブカメラの映像等を防災情報ホームページで提供します。



ライブカメラのイメージ

【出典：国土交通省資料】



水位情報のイメージ（朝明川・小牧観測所）

ライブカメラなどを設置し、リアルタイムでの防災情報を提供します。

【出典：四日市市防災情報HP】

## No. 2 地域防災の取組の推進

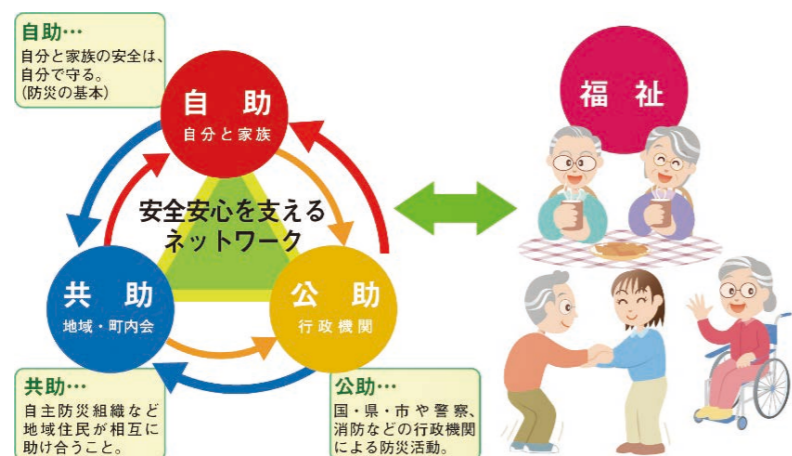
防災 + 福祉 + 地域コミュニティ



目的 地域防災の取組を支援し、**「自分たちのまちは自分たちで守る」住民主体の行動を促進する**



- 具体的取組
- ① 地域の創意工夫を凝らした避難支援への取組を支援します。
  - ② 「防災」と「福祉」の連携による高齢者等の避難行動を促進する地域づくりを構築します。



防災・減災の取組と在宅介護支援センターや要配慮者利用施設の取組を連携し、地域防災にかかる取組を支援します。

## No. 3 防災教育の充実

消防 + 防災



目的 VR等の最新技術を取り入れた拠点を活用し、**防災教育の充実により地域防災力の向上を図る**



- 具体的取組
- ① VR等の最新技術を取り入れた防災教育センターや地震体験車を活用し、実践的な防災教育を行います。
  - ② 地域での自助・共助にかかる取組を支援するため、最新技術を活用するだけでなく、避難所運営や防災ツアーなどの体験型防災教育に取り組みます。



VR等の最新の技術や機材を活用し、市民が災害を身をもって体験できる等、実践的な防災教育を行います。



防災ツアーなどの体験型防災教育プログラムを活用し、人材の育成と防災訓練の充実を図ります。

## No. 4 暮らしの安全性を高める川づくり（治水安全度向上）

河川 + 防災



目的 近年増加する局地的降雨で危険にさらされている中小河川沿川の対策を進めることで**治水安全度を高める**



- 具体的取組
- ① ひとたび堤防が決壊すると流域の住宅市街地に深刻な影響を与える朝明川、海蔵川、三滝川、鹿化川、天白川などの整備を促進します。
  - ② 三重県が行う三滝川、三滝新川、海蔵川の整備に必要な準用河川堀川の内水対策を進めます。



三重県により整備が進む三滝新川。堤防の背後地に家屋が密集しています。

内水対策



準用河川堀川における内水対策として ①放流路の設置 ②排水機場の設置 ③阿倉川樋門の操作規則変更を三滝川分派完成までに行います。